

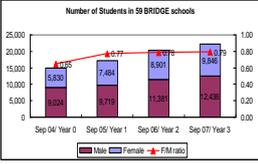
# 動画制作 企画書 (サンプル)

提出日： 年 月 日  
(JICA 制作担当部署： ○○○○○ )

## (1) 概要

動画名称 (仮)	外国で活動するということ～「言語論」「文化論」「異文化理解」～		
制作期間 ・収録要否	3 か月 新規収録 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	制作担当部担当 者及び連絡先	国際太郎 (Kokusai.Taro@jica.go.jp)
目的	JICA 海外協力隊員 (主にコミュニティ開発職種隊員) に対して、外国で活動することの基礎的課題を提起する。そのことにより、外国語・現地語の習得、現地におけるスムーズなコミュニケーション、異文化理解を促進に役立てる。そのことによって、隊員が現地社会に溶け込むための基本知識を得ることを本教材の目的とする。		
全体尺	<input checked="" type="checkbox"/> 30 分以内 <input type="checkbox"/> 15 分以内 <input type="checkbox"/> 8 分以内 ※啓発・事業広報用動画は 1 本尺を 15 分～8 分とし、1 本尺が 15 分を超える動画は、研修目的の教材のみとする。		
主な対象者 と活用目的	途上国で活動する全ての隊員にとって、言語や異文化理解に役立つ内容とする。一般公開することで、募集説明会や応募勧奨、応募者の受験対策にも役立つものとする。		
構成	<ol style="list-style-type: none"><li>「言語論」：言語の仕組み (音素・単語・カテゴリー化など) を理解する。言語の恣意性と共有性を理解することで、外国語の学習にも役立てることができるように、平易に説明する。</li><li>「コミュニケーション論」：コミュニケーションをとるためには、本に書かれたテキストではなく、実際に使われている状況 (コンテキスト) が重要であることを理解する。そのことによって、なぜ、コミュニケーションギャップが起きるか考える。</li><li>「非言語コミュニケーション」：社会における非言語コミュニケーションの重要性と文化による違いを認識する。</li><li>「文化論」：事例を用いながら、「文化」も言語と同様に恣意的であることを理解する。そのことによって、個々の文化現象に本源的必然性がないことを知る。</li></ol> <p>「異文化理解論」：エティックとエミクの違いを認識し、「自文化中心主義」から少しでも脱却して、他文化を相対的に見る視点を養う。そのことによって現地の人々を理解し、理解される活動を創出していくことを目指す。また、異文化理解には、表層的な差異性ばかりにとらわれることなく、現地と人と我々の間には人間としての本質的な共有性があることを理解する。</p>		
素材・参考資料	※提供可能な既存の映像、投影する PPT、写真、図表、グラフについて説明する。 投影する情報は別添 PPT 参照。		
言語	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語 <input type="checkbox"/> 英語		

(2) シナリオ (尺・テロップ・ナレーション・画面イメージ)

画面イメージ	尺	表示テロップ	ナレーション/ナレーション要素・講義台詞																				
<p>・タイトルイメージ</p> 																							
<p>・〇〇のインタビュー</p> 																							
<p>・〇〇のグラフ (CG・アニメーション付き)</p>  <table border="1"> <caption>Number of Students in 58 BRIDGE schools</caption> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Male</th> <th>Female</th> <th>F/M ratio</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Sep 04 Year 0</td> <td>5,820</td> <td>3,024</td> <td>0.52</td> </tr> <tr> <td>Sep 05 Year 1</td> <td>7,484</td> <td>3,713</td> <td>0.49</td> </tr> <tr> <td>Sep 06 Year 2</td> <td>6,901</td> <td>3,031</td> <td>0.44</td> </tr> <tr> <td>Sep 07 Year 3</td> <td>9,360</td> <td>3,438</td> <td>0.37</td> </tr> </tbody> </table>	Year	Male	Female	F/M ratio	Sep 04 Year 0	5,820	3,024	0.52	Sep 05 Year 1	7,484	3,713	0.49	Sep 06 Year 2	6,901	3,031	0.44	Sep 07 Year 3	9,360	3,438	0.37			
Year	Male	Female	F/M ratio																				
Sep 04 Year 0	5,820	3,024	0.52																				
Sep 05 Year 1	7,484	3,713	0.49																				
Sep 06 Year 2	6,901	3,031	0.44																				
Sep 07 Year 3	9,360	3,438	0.37																				
<p>・〇〇の説明 △△の写真数枚で構成</p> 																							